

## 于 臣

---

### ① 研究業績

#### 1. 著書 (1件)

・『渋沢栄一は漢学とどう関わったのか—『論語と算盤』が会える東アジアの近代』(共著) ミネルヴァ書房、2017年2月、(編集者) 町泉寿

#### 2. 訳書 (1件)

・『渋沢栄一と中国— 一九一四年の中国訪問』不二出版、2016年7月、(原書編集者) 田形

#### 3. 学会発表、他

##### 口頭発表 (6件)

・「中国からみる渋沢栄一—渋沢栄一の1914年の中国訪問を手掛かりに」于 臣、第4回『国際交流に託した渋沢栄一の望』研究会、国際文化会館、2017年12月

・「近代中国の孔教論と『論語と算盤』」于 臣、シンポジウム：『論語』と『算盤』が会える東アジアの近代—渋沢栄一と三島中洲、倉敷市立美術館、2017年1月

・“Zhang Jian and the Transfer of Western Business Methods through Japan into China”, The Business History Conference, Portland, Oregon, U.S.A. April 2016

・『一気其自然』からみる山田方谷の経世思想」于 臣、備中倉敷学10周年記念シンポジウム、倉敷公民館、2015年9月

・“Zhang Jian's Business Management from the Perspective of Shibusawa Eiichi's Gapon-shugi” YU Chen, 17th World Economic History Congress Kyoto2015, ICC Kyoto, August 2015

・「比較の視座から再考する渋沢栄一の『論語』読み—近代中国の孔教論を手掛かりに」于 臣、東アジア文化交渉学会第七回国際シンポジウム、神奈川県開成町、2015年5月

### ②学内活動

#### 1. 学内委員

国際交流委員会 (教育人間科学部) 言語サポータ (2013年4月～)

#### 2. JASSO 中国語プログラム2017の実施

8月24日から9月17日までJASSOプログラム『「同文同種」の両面性を活かす国際的リーダーシップ開発プログラム』を上海で実施した。参加者10名は華東師範大学で中国語の集中授業を受講したほかに、課題実習、企業見学、ならびに現地大学生との交流を行うことで、将来、国際舞台で活躍する人材が持つべき主体性、柔軟性、積極性、ならびに協調性の養成に努めた。